



夢幻の刻・紫の帳

藤は奈良時代から愛されてきた日本原産の植物。源氏物語の中でも特別愛された高貴で品格のある花である。あしかがフラワーパークの藤は、樹齢160年、2本で2000平米、花房の長さ1.8メートル、1本の幹から8万房の花が咲く。30年前に2000人もの人の手によって不可能と言われた移植が成功した「奇跡の大藤」。人々の情熱と愛によって大切に育まれたこの藤の花は、むせ返るような芳香を放ちながら現世と夢の狭間に在るような繊細で幻想的な美しさで見る者の心を魅了する。